

「臨床婦人科産科」第49巻 総目次

1995年(第1号~第12号)

数字は通巻頁数、()は号数

今月の臨床

●CT か MRI か—婦人科腫瘍読影のポイント(1)

〈基礎〉

1. CT スキャンの原理と特性……井筒 睦・川口 修・長谷川市郎・森 徹・平松 京一……10
2. MRI の原理と特性 ……杉村 和朗……18
3. 超音波, CT, MRI の有効な使い方 ……富樫かおり……24

〈子宮腫瘍〉

4. 頸癌浸潤度(側方, 膀胱直腸浸潤) ……高橋 康一・吉岡 増夫・中村 幸雄……34
5. 体癌浸潤度(壁内浸潤) ……牧野田 知・半田 康・晴山 仁志・藤本征一郎……42
6. 子宮癌の転移……伏木 弘・泉 陸一……50
7. 子宮筋腫……小口 治・藤井 信吾……58
8. 子宮腺筋症・子宮内膜症 ……石川 元春・星合 昊……66

〈卵巣腫瘍〉

9. 嚢胞性腫瘍の診断と鑑別……喜多 恒和・菊池 義公・入江 俊之……74
 10. 充実性腫瘍の診断と鑑別 ……西田 敬・今石 清久……80
 11. 卵巣癌の診断と進展度……早田 隆・廣田 佳子・宮川 勇生……88
 12. 腹膜偽粘液腫の診断……柏村 正道……100
- 〈その他〉
13. 後腹膜腫瘍の診断と鑑別……加藤 友康……106

●分娩発来—しくみと調節(2)

〈子宮筋の感受性と頸管熟化〉

1. 子宮筋の感受性……齋藤 良治……154
2. コラーゲンと頸管熟化……高橋 通・渡辺 芳明・畑 俊夫……158
3. 癌胎児性フィブロネクチンと分娩発来 ……飯岡 秀晃・橋本 平嗣・一條 元彦……162

〈子宮収縮の内分泌調節〉

4. オキシトシンに関する分子生物学的研究と分娩生理……古谷 健一・三井千栄子・水本 賀文・永田 一郎……164
5. プロスタグランディン ……高橋 通・畑 俊夫……166

〈早産の発生要因〉

6. 局所感染……保田 仁介……170
7. 頸管不全(頸管無力症) ……平川 舜……173

〈分娩誘発〉

8. 器械的頸管拡大は有効か……異 英樹……176
9. 経口薬物による頸管熟化法……石川 睦男……179
10. PGE₂ 経腔投与法の限界……山口 昌俊……182
11. オキシトシン投与とその留意点 ……齋藤 裕・森山 修一……184

〈陣痛の抑制と強化〉

12. 過強陣痛を防ぐにはどうするか ……堀 大蔵……188
13. 胎児仮死—羊水補充のタイミング ……井槌慎一郎・中林 正雄・武田 佳彦……190
14. 早産—感染防止の併用と前期破水の予防……平野 秀人・津田 晃・小川 正樹・田中 俊誠……194
15. 多胎妊娠—肺水腫への対応 ……宿田 孝弘・木戸口公一・末原 則幸……198

〈異常妊娠の分娩誘発とその管理〉

16. 羊水過多……原 量宏……202
17. 羊水過少……佐藤 昌司・小柳 孝司・中野 仁雄……206
18. 高齢妊婦(軟産道強靱) ……奥山 和彦・藤本征一郎……210

●GnRH 療法—刺激と抑制(3)

〈基礎知識〉

1. GnRH の分泌調節機構 ……船橋 利也・貴邑富久子……272
2. 下垂体 GnRH レセプターと作用機序

.....田坂 慶一	276
3. 正常月経周期と GnRH パルス状分泌の変動	楠原 浩二 280
4. 無月経における GnRH 分泌の異常	荒木 重雄 283
5. GnRH アゴニストの種類と作用	飯野 好明・森 宏之 286
6. GnRH アンタゴニストの開発と展望	矢野 哲・武谷 雄二 290
7. 卵巣の GnRH レセプターと役割	平田 修司・加藤 順三 293
<GnRH パルス療法>	
8. 思春期遅発症	中井 義勝 297
9. 視床下部性無月経の GnRH パルス療法	伊藤 郁朗・峯岸 敬・伊吹 令人 300
10. 高プロラクチン血症	松崎 利也・苛原 稔・青野 敏博 303
11. 体重減少性無月経	吉村 泰典・小山 典宏・中村 幸雄 306
12. hMG-hCG 療法との比較	奥田喜代司・岡崎 審・杉本 修 309
<GnRH アゴニスト療法>	
13. 子宮内膜症—Danazol との使い分け	大野原良昌・原田 省・寺川 直樹 315
14. 子宮筋腫に対する GnRH アゴニスト療法の効果と限界	堂地 勉 318
15. 思春期早発症	安蔵 慎・松尾 宣武 322
16. 乳癌	野村 雍夫 324
17. 体外受精のための過排卵刺激	蔵本 武志 336
18. 早発卵巣不全 (Premature ovarian failure)	樋口 泰彦 328
19. PCO 症候群	大野 洋介 330
20. 長期投与の副作用とその予防	植村 次雄 332
<使用上のアドバイス>	
21. スプレキュア	西田 正人・杉田 匡聡・久保 武士 337

● 病態生理の最前線—臨床へのフィードバック (4)

<生殖・内分泌>

1. 性分化の異常	鈴木 秋悦・北井 啓勝 383
2. PCO 症候群 (多嚢胞性卵巣症候群)	熊坂 高弘・大川 浩司 391
3. 不育症	山田 秀人・佐々木隆之・香城 恒麿・藤本征一郎 397
4. 黄体機能不全に関する新しい考え方	

.....福田 淳・児玉 英也・田中 俊誠	405
5. 受精障害と着床異常の病態	野田 洋一・喜多 伸幸 413
6. 男性不妊の病態と治療の限界	星 和彦・柳田 薫 421
<腫瘍>	
7. 子宮内膜症と子宮腺筋症の発生要因	石川 元春・三橋 洋治・星合 昊 429
8. 卵巣癌の転移機序	西田 敬・駒井 幹 435
9. 子宮頸癌—ウイルス感染と発癌機構	岩坂 剛 441
10. 子宮内膜癌の発生・進展と予後	蔵本 博行 449
11. 外陰癌の発癌機転	児玉 省二・田中 憲一 455
<産科>	
12. 妊娠中毒症の発症病態	松本 隆史 461
13. 胎盤早期剥離の病態と早期診断	井坂 恵一 467
14. DIC の病態生理	大塚 博光・雨宮 章 471
15. 骨盤位分娩	伊藤 茂・桑原 慶紀 479
16. 前置胎盤と胎児発育	伊藤 隆志 485
17. 深部静脈血栓症の発症要因	安達 知子 487
<胎児・新生児>	
18. IUGR の成因と病態	岸本 廉夫・多田 克彦・工藤 尚文 493
19. 出生前 PVL の発症と病態	山口 信行・戸苅 創 501
20. 頭部奇形の診断と Sonoembryology	竹内 久彌・佐藤 隆之 507

● 妊娠と血液 (5)

editorial	寺尾 俊彦 549
妊娠貧血	佐川 典正 550
妊娠と血液凝固	曾我 賢次 554
妊娠と線溶	島田 逸人 558
血液凝固線溶の分子マーカー	
.....中嶋 章子・小川 俊隆・高山 雅臣	564
妊娠とレオロジー (赤血球変形能, 白血球変形能)	江口 勝人 568
妊娠と自己免疫疾患	青木 耕治 574
産科の急性 DIC—産科 DIC は本当に急性か?	
.....水上 尚典・佐藤 郁夫	578
妊娠中毒症と慢性 DIC	

……高木耕一郎・赫 文栄・橋口 和生・ 村岡 光恵・中林 正雄・武田 佳彦…	584
血管攣縮・血液凝固と妊娠・分娩	
子癇……………寺尾 俊彦…	590
HELLP 症候群……………寺尾 俊彦…	594
羊水塞栓症……………寺尾 俊彦…	598
血液疾患と妊娠・分娩	
ITP……………小林 隆夫…	602
再生不良性貧血……………小林 隆夫…	606
先天性血液凝固異常……………小林 隆夫…	608
血小板異常症……………小林 隆夫…	614
血液型不適合妊娠	
同種免疫の防止……………中村 幸夫…	618
既感作妊婦の治療……………中村 幸夫…	620
胎児・新生児と血液	
胎児の血液凝固能 ……………鈴木 俊明・岡村 州博…	624
新生児血小板減少症 ……………鈴木 俊明・岡村 州博…	626
ビタミンK欠乏性出血……………鈴木 重統…	628
新生児期における DIC ……鈴木 重統…	632

● イラスト小手術(6)

＜麻酔と切開＞

1. 産婦人科領域の局所麻酔法…川真田美和子…	674
2. 皮膚の切開と縫合……………玉舎 輝彦…	678
3. 哆開創傷の再縫合 ……………北尾 学・有行 泰秀…	684

＜穿刺＞

4. ダグラス窩穿孔……………森下 義夫…	688
5. 腹腔穿刺……………日浦 昌道・藤岡 徹…	691
6. 胸腔穿刺……………山脇 孝晴・荷見 勝彦…	694
7. 嚢胞穿刺……………小林 善宗・本田 育子・ 井上 正人…	698
8. 羊水穿刺……………末原 則幸…	701
9. 胎児腔水症穿刺……………前田 博敬…	704

＜レーザー手術＞

10. 子宮腔部びらん焼灼術・バルトリン腺 膿瘍開窓術……………滝沢 憲…	707
--	-----

＜婦人科＞

11. 内膜試験搔爬術……………谷口 一郎…	712
12. 円錐切除術……………奥田 博之・工藤 尚文…	716
13. 中央腔閉鎖術, 会陰形成術……………高島 英世…	720
14. 子宮鏡下筋腫核出術 ……………林 保良・岩田 嘉行…	726
15. 腹腔鏡下手術における癒着剝離術	

……………伊熊健一郎…	730
16. 卵管鏡下癒着剝離術……………末岡 浩…	736
＜産科＞	
17. 人工妊娠中絶術……………本郷 基弘…	740
18. 頸管縫縮術……………南 邦弘…	744
19. プロムフェンス装着術……………今中 基晴・ 福益 博・西尾 順子…	748
20. 会陰切開術……………進 純郎…	752
21. 胎盤用手剝離術……………伊藤 博之…	755
22. 会陰裂傷縫合術……………古橋 信晃…	758
23. 会陰血腫除去術……………河野 勝一…	762
24. 頸管裂傷縫合術……………大森 茂…	764

● 婦人科癌の免疫療法(7)

1. Editorial にかえて—現況と展望 ……………田中 憲一…	798
--	-----

＜癌と免疫—基礎知識＞

2. 癌と宿主—免疫監視機構……………仙道富士郎…	806
3. 癌の進展に伴う免疫能の変化……………藤原 大美…	810
4. エフェクター細胞の作用機序 ……………大野 正文・半藤 保…	816
5. 腫瘍関連抗原の有用性……………加藤 紘…	824
6. 癌遺伝子産物と免疫 ……………京 哲・井上 正樹…	828

＜免疫療法の実際＞

7. 子宮頸癌……………関谷 宗英…	834
8. 子宮体癌の免疫療法 ……………結城 道広・佐藤 信二…	836
9. 卵巣癌……………金澤 浩二…	838
10. 免疫賦活剤の使い方 1—ソニフィラン /OK432 ……清水 敬生…	842
11. 免疫賦活剤の使い方 2—ソニフィラン ……………長谷川和男…	847

＜免疫療法の展望＞

12. 婦人科癌に対するサイトカイン療法 ……………梅咲 直彦…	852
13. 養子免疫療法……………青木 陽一…	860
14. ミサイル療法……………山口 俊晴・高橋 俊雄…	864
15. 遺伝子導入療法……………加藤 聖子・和気 徳夫…	868

● 体外受精マニュアル—新しく始める人へのアドバイス(8)

巻頭言……………坂元 正一…	919
＜Overview＞	

1. 体外受精の歩み……………鈴木 秋悦…	923
2. 体外受精と生殖生理……………根上 晃・	

吉田 好雄・富永 敏朗… 929	4) Poor responder への対応 …高岡 康男・ 千石 一雄・石川 睦男…1047
〈体外受精の準備〉	5) 黄体機能賦活法……………山口 聡・ 山辺 晋吾・望月 真人…1053
1. 日産婦学会への登録手続きと報告 ……………齊藤 英和… 937	2. 採卵法一時期, 器具, 手技…………栗田松一郎・ 田中 温・永吉 基…1059
2. 症例と適応	3. 精子調整法……………高塚 亮三…1067
1) 原因不明 (抗精子抗体含む) …………… 鎌田 正晴・石川ひろみ・青野 敏博… 943	4. 受精の確認と受精卵の観察…………西村 満・ 西垣 新・岡田 久…1075
2) 子宮内膜症…………戸澤 秀夫・深谷 孝夫… 949	5. 胚移植法……………吉村 慎一…1081
3) 高齢女性…………宮城 博子・神山 茂・ 照屋 陽子・金澤 浩二… 955	〈体外受精の合併症とその対策〉
4) 男性不妊…………中野 英之・久保 春海・ 三浦 一陽… 959	1. 子宮外妊娠…………柴原 浩章・池田 義和・ 香山 浩二…1087
3. プログラム	2. 流産……………佐藤 孝道…1091
1) 入院方式…………小田 高久・郡山 智・ 吉田 丈児… 965	3. 多胎……………佐藤 章・遠藤 力・ 北野原正高・星 和彦…1097
2) 外来方式……………井上 正人… 969	4. 多嚢胞性卵巣症候群の過排卵刺激 …………藤原 敏博・堤 治・武谷 雄二…1103
4. ラボラトリー	5. 卵巣過剰刺激症候群の治療…………見尾 保幸…1107
1) 不妊クリニック……………臼井 彰・ 安部 裕司・久保 春海… 973	6. 染色体分析……………吉澤 緑…1113
2) 不妊クリニック……………原 利夫… 979	〈体外受精の展開〉
3) 公立病院の体外受精……………佐久本哲郎・ 中山美奈子・大城 貴子… 987	1. 共培養法……………竹内 一浩…1119
4) 大学病院の体外受精……………関 守利・ 竹内 巧・中村 秀夫… 991	2. 凍結胚移植の実際 ……………森若 治・神谷 博文…1123
5) 大学病院の体外受精……………神野 正雄・ 吉村 泰典・中村 幸雄… 997	3. 精巣上体精子……………福田 淳・児玉 英也・ 田中 俊誠…1129
5. ラボラトリー運用の実際	4. SUZI ……………三宅 崇雄・佐藤 芳昭…1134
1) 培養液の調整と保存……………坂本 秀一・ 久保田俊郎・黒沢美穂子・ 清水 康史・麻生 武志…1003	5. ICSI ……………柳田 薫・星 和彦・ 佐藤 章…1139
2) 市販培養液 (キットなど) の利用 ……………山下 隆則…1009	6. 経子宮筋層の内膜内胚埋め込み法 (The Towako Method) ……………加藤 修…1145
3) 実体顕微鏡と位相差顕微鏡の使い方 ……………佐藤 嘉兵…1013	7. Assisted Hatching ……………矢野 浩史…1149
6. コメディカルの役割 (エンブリオロジス ト, ナース・カウンセラー) ……………高橋 克彦・ 竹中真奈美・吉岡千代美・向田 哲規…1019	8. レーザーによる顕微授精……………荒木 康久・ 本山 光博・荒木 重雄…1155
7. 体外受精の Quality Control ……………森本 義晴・井上 剛…1023	9. 不成功例の検討……………久慈 直昭・ 小林 俊文・野澤 志朗…1161
〈体外受精の基本操作〉	〈体外受精—私のコツ〉
1. 卵巣刺激法	1. 杉村レディースクリニック…………杉村 和男…1165
1) 自然周期……………福田 操男・福田 清美…1031	2. 福田ウイメンズクリニック……………福田 勝…1167
2) hMG/FSH-hCG ……………安部 裕司・久保 春海…1037	3. 梅ヶ丘産婦人科……………辰巳 賢一…1169
3) GnRHa 併用 (short と long) ……………石川 元春・星合 昊…1041	4. 脇本産婦人科—体外受精・胚移植 (IVF-ER) ……………脇本 博…1172
	5. セント・ルカ産婦人科……………宇津宮隆史…1175
	6. 成田病院……………成田 収…1179
	7. 済生会下関総合病院……………蔵本 武志…1182
	8. 東京慈恵会医科大学……………小田原 靖・

	松本 和紀・楠原 浩二…1184
9. 東京女子医科大学……………	三室 卓久・
上東 彰子・岩下 光利・武田 佳彦…1187	
10. 名古屋大学分院……………	菅沼 信彦…1190
〈体外受精の成績〉	
1. 国内……………	後藤 康夫・神崎 秀陽・
	森 崇英…1194
2. アメリカ……………	川内 博人…1197
3. オーストラリア……………	山野 修司・青野 敏博…1201
〔コラム・体外受精—新しく始める人へのアドバイス〕	
体外受精とチーム医療……………	林 直樹・
石原 理・竹田 省・木下 勝之… 942	
体外受精治療をめざす方へ……………	星 和彦… 954
大学病院における体外受精……………	菅沼 信彦… 978
IVF と GnRH アゴニスト……………	植村 次雄…1018
未知なる生命現象に対する真摯な態度が	
求められている……………	野田 洋一・
濱田 浩明・林 嘉彦…1030	
荻窪病院での体外受精初期の経験から	
……………	飯田 悦郎…1058
1人で行う IVF 外来……………	田宮 親…1080
発想の転換を……………	高橋 克彦…1128

● 婦人の尿失禁—トラブルへの対処(9)

〈Overview〉

1. 最近の傾向と現状……………	天神 尚子・
	進 純郎・荒木 勤…1216

〈排尿のしくみ〉

2. 解剖と蓄尿, 排尿のメカニズム	
……………	井川 靖彦・小川 秋實…1220

3. 膀胱・尿道の機能検査……………	水尾 敏之…1224
--------------------	------------

〈尿失禁を診る〉

4. 尿失禁の分類……………	山田 拓己…1230
5. 愁訴に応じた診断と検査……………	野村 雪光…1234
6. 妊娠と尿失禁……………	椋棒 正昌・寺本 憲司…1240
7. 術後尿失禁……………	浜田 雄行…1242
8. 性行為と尿失禁……………	林 淑子・広井 正彦…1248

〈尿失禁のコントロール〉

9. 生活習慣の改善……………	西村かおる…1250
10. 患者心理の理解と精神的ケア	
……………	星野 恵則・田中 朱美…1253

11. 高齢者のマネジメント……………	並河 正晃…1256
---------------------	------------

〈尿失禁を治療する〉

12. 婦人の尿失禁の治療計画……………	中田 真木…1260
13. 骨盤底再教育……………	中田 真木…1262
14. 行動療法……………	中田 真木…1265

15. 薬物療法……………	大村 政治・近藤 厚生…1268
16. ホルモン療法……………	石河 修…1272
17. 尿失禁の漢方療法……………	村田 高明…1275
18. 手術療法—1 経腔……………	下浦 久芳…1278
19. 手術療法—2 経腹……………	塚本 直樹…1286
20. 治療中のトラブル……………	荒木 徹…1292

● 初期治療 60 分—産科救急(10)

〈出血〉

1. 子宮外妊娠……………	保坂 真・井坂 恵一・
	高山 雅臣…1352
2. 前置胎盤……………	畑 俊夫・小倉 一仁・
	富岡 康広…1355
3. 常位胎盤早期剥離……………	川村 光弘…1358
4. 子宮破裂……………	齋藤 良治・小笠原智香…1360
5. 弛緩出血……………	天野 完…1364
6. 頸管裂傷……………	今井 史郎…1366
7. 会陰・腔壁裂傷(会陰血腫を含む)	
……………	乾 泰延…1368
8. 子宮内反症……………	金倉 洋一…1371
9. 胎盤ポリープ……………	山口 暁・越野 立夫…1374

〈感染〉

10. エンドトキシンショック……………	萩尾 洋介…1376
11. エキソトキシンショック(warm shock)	
……………	高杉 信義・加藤 紘…1380

〈血栓・塞栓〉

12. 肺血栓・肺塞栓症……………	北川 道弘…1384
13. 羊水塞栓症……………	徳永 直樹・金山 尚裕・
	寺尾 俊彦…1386

〈けいれん・昏睡〉

14. 子癇……………	沖津 修…1389
15. 糖尿病性昏睡……………	豊田 長康…1392

〈呼吸困難と循環不全〉

16. 喘息……………	岸本 廉夫・近藤 裕司・
	多田 克彦…1394
17. 肺水腫……………	岡本 悦治…1398
18. 不整脈……………	岩崎 克彦…1400
19. 心筋症……………	村上 雅義…1406

〈肝不全〉

20. 急性妊娠脂肪肝……………	大塚 博光・
	会沢 芳樹・小西 隆裕…1410
21. HELLP 症候群……………	伊藤 昌春・岡村 均…1414
22. 当直医のための救急薬品リストと	
使い分け……………	上塘 正人・鮫島 浩…1418

● 無排卵一病態と治療をめぐるトピックス(11)

<Overview>

1. 排卵をめぐる最近の知見……………増田美香子・
久保田俊郎・麻生 武志…1470

<新しい病態を探る>

2. 卵胞発育と成長因子……………丸尾 猛・
武木田茂樹・望月 真人…1475
 3. 排卵障害と inhibin, activin ……峯岸 敬…1478
 4. 排卵障害とサイトカイン…………吉村 泰典・
青木 啓光・永井 晶子・中村 幸雄…1482
 5. ギナトトロピン抵抗性卵巣症候群
……宮川 勇生・河野 康志・栖原 久司…1485
 6. PCO とインスリン抵抗性 ……田辺 清男・
岸 郁子・浜谷 敏生・杉原 一廣・
北岡 芳久・斎城 綾子・野澤 志朗…1488
 7. 黄体化非破裂卵胞 (LUF) ……清水 靖・
福田 淳・児玉 英也・田中 俊誠…1491
 8. 神経性食欲不振症の心理…………野添 新一…1494
 9. 肥満と排卵障害…………大野 洋介・本庄 英雄…1498
 10. Kallmann 症候群と遺伝子異常
……………生山祥一郎・名和田 新…1500
 11. Turner 症候群と卵胞閉鎖の機序
……櫻木 範明・古田伊都子・藤本征一郎…1504
 12. 抗癌剤の卵巣機能への影響…………滝沢 憲…1509
 13. 加齢と排卵障害……………佐藤 孝道…1512
- ### <効果的治療法の選択>
14. クロミフェン無効例への対応
……………矢野 樹理・松浦 俊平…1516
 15. FSH 療法の適応
……………松浦 講平・岡村 均…1520
 16. GnRH アゴニストの排卵誘発への応用
……………千石 一雄・石川 睦男…1522
 17. FSH-GnRH パルス療法…………桑原 章・
苛原 稔・青野 敏博…1524
 18. Poor responder に GH の併用は
有効か……………安達 知子…1528
 19. OHSS への対応 ……菅沼 信彦・
原田 美幸・近藤 育代…1532
 20. 多嚢胞性卵巣に対する腹腔鏡下手術
……………高山 和人・深谷 孝夫…1536
 21. 漢方療法の有用性……………佐藤 芳昭…1538
 22. テルグリドによる高プロラクチン血症
の治療……………森田 豊・堤 治・
武谷 雄二…1542

● 今月の臨床「いまだに“胎児仮死”か」(12)

胎児仮死の発生はどう変わったか…工藤 尚文…1590
仮死分娩児の予後評価はどう変わって

きたか……………志賀 清悟・柴田 隆…1594

胎児仮死を見逃さない

1. IUGR と胎児仮死

- 1) 心拍モニタリングはどこまで有効か
……………太田 孝夫…1600
- 2) 循環動態の評価……………佐藤 昌司・
小柳 孝司・中野 仁雄…1607
- 3) 羊水量と羊水性状……………大井 豪一・
山崎 達也・宇津 正二…1610
- 4) 臍帯穿刺による胎児採血と酸塩基
平衡……………遠藤 力・藤森 敬也・
高梨子篤浩・佐藤 章…1612
- 5) Biophysical profile……………武久 徹…1616

2. 妊娠・分娩時の胎児仮死

- 1) 心拍モニタリングはどこまで有効か
柳原 敏宏・原 量宏・神保 利春…1621
- 2) ノンストレステストとストレス
テスト……………名取 道也…1626
- 3) 臍帯の走行と巻絡の診断
……………齋藤 裕・熊澤 哲哉…1630

胎児仮死にどう対応するか

1. 母体への対応

- 1) 酸素投与・輸液療法……………森 晃・
佐倉 まり・中林 正雄・武田 佳彦…1632
- 2) 羊水補充療法……………辰村 正人…1635
- 3) 子宮収縮抑制法……………坂田 寿衛…1638

2. 胎児への対応

- 1) 吸引, 鉗子分娩 (適応と限界)
……………西島 正博・庄田 隆…1642
- 2) 鉗子, 吸引分娩から, 帝切への移行
のタイミング……………大塚 晃生・池ノ上 克…1646

新生児仮死への緊急対応

1. 蘇生のファーストエイド
……………大道 正英・千葉 喜英…1649
2. 新生児期のフォローアップ……………三科 潤…1652

座談会

顕微授精の展望

……………出席●鈴木 秋悦・星 和彦・
加藤 修／司会●青野 敏博… 111(1)

カラーグラフ 遺伝講座 (鈴森 薫)

7. 遺伝子診断の実際 1 …………… 5(1)

8. 遺伝子診断の実際 2	149 (2)
9. 遺伝子診断の実際 3	267 (3)

カラーグラフ 微細血管構築とコルボス コピー (奥田 博之)

1. 正常扁平上皮域・子宮腔部円柱上皮域	379 (4)
2. 正常扁平上皮化生域 (I)	545 (5)
3. 正常扁平上皮化生域 (II)	669 (6)
4. 炎症	796 (7)
5. Dysplasia (1)	916 (8)
6. Dysplasia (2)	1211 (9)
7. 上皮内癌	1347 (10)
8. 初期浸潤癌	1465 (11)
9. 浸潤癌 (扁平上皮癌)	1585 (12)

産科外来超音波診断

7. Fetal Biophysical Profile Scoring —その 1	清水 卓・伊原 由幸	129 (1)
8. Fetal Biophysical Profile Scoring (BPS)—その 2	清水 卓・伊原 由幸	351 (3)
9. 妊婦健診でのスクリーニング—胎児 頸部の異常：嚢胞状リンパ管腫 (cystic hygroma)	伊原 由幸・清水 卓	645 (5)
10. 妊婦健診でのスクリーニング—胎児頸 部の異常 (2)：nuchal fold thickening —Down 症の超音波断層法によるスク リーニング	伊原 由幸・清水 卓	879 (7)
11. 脈絡叢嚢胞 (Choroid Plexus Cyst : CPC)—その管理のジレンマ	清水 卓・伊原 由幸	1303 (9)
12. 妊婦外来での超音波スクリーニング —胎児肺野の異常：子宮内胎児治療の 現状と展望	伊原 由幸・清水 卓	1557 (11)

CURRENT RESEARCH

子宮体癌における複合糖質の発現異常と その浸潤・転移に及ぼす影響	久布白兼行・塚崎 克己・野澤 志朗	225 (2)
胎盤性凝固抑制因子・Calphobindin の 研究	設楽 芳宏・木村菜桜子・ 田中 俊誠	1307 (9)

CURRENT CLINIC

産婦人科医における乳房検診—乳癌を

見落とさないために	荻野 雅弘	135 (1)
-----------	-------	---------

Q & A

前回帝切創の超音波検査の有用性	福田 操男・福田 清美	121 (1)
妊娠中期の Cul-de-sac にある卵巣嚢腫の 開腹手術によらない内容物排液の 有用性と安全性	田中 尚武	217 (2)
Misoprostol による妊娠中絶・陣痛誘発 の効果と安全性	武久 徹	343 (3)
尿失禁診断上の注意点と診療所レベルで できる腹圧性尿失禁診断法 について (1)	下浦 久芳	519 (4)
尿失禁診断上の注意点と診療所レベルで できる腹圧性尿失禁診断法 について (2)	下浦 久芳	637 (5)
尿失禁診断上の注意点と診療所レベルで できる腹圧性尿失禁診断法 について (3)	下浦 久芳	769 (6)
子宮収縮抑制剤塩酸リトドリンの副作用	武久 徹	871 (7)

産婦人科クリニカルテクニック—ワンポ イントレッシン—私のノウハウ

腹式帝王切開術中の子宮下部横切開手技	島田 信宏	124 (1)
郭清の困難な転移リンパ節について	望月 真人	125 (1)
小児用バルーンカテーテルを用いた —子宮卵管造影法	中村 幸雄・飯塚 義浩	220 (2)
子宮頸癌領域リンパ節郭清術に便利な器 械—特に吸引管の使用について—	梅咲 直彦	221 (2)
子宮癌根治手術における 2, 3 の小さな 工夫—基靱帯 (子宮側) 結紮に 糸を、他—	本庄 英雄	346 (3)
Strassmann 手術における一工夫	高桑 好一・田中 憲一	347 (3)
尖圭コンジローマに対するレーザー治療	伊藤 元博・大高 究	524 (4)
子宮筋腫と子宮肉腫の鑑別のポイント	望月 真人	525 (4)
7 日間固定卵胞刺激法による ART	久保 春海・安部 裕司	642 (5)
回転式骨盤位娩出術	島田 信宏	643 (5)

Pfannenstiell 切開の勧め	……玉舎 輝彦…	774(6)
NT ライゲーター (田村式) による 筋腫分娩の治療法	……中村 幸雄・安藤 索…	775(6)
我々の行っている腔式子宮全摘術の工夫 —照明, 特殊手術器具, 腔断端部 処理—	……桑原 惣隆…	876(7)
子宮筋腫核出術時の生理的組織接着剤と 合成吸収性癒着防止材の使用	……菅沼 信彦…	877(7)
子宮全摘に使い勝手の良い止血鉗子	……村上 弘一・荒木 克巳・ 寺田 督・井上 正樹…	1296(9)
広汎性子宮全摘出術における直腸側腔の 展開	……加藤 順三…	1297(9)
子宮腔脱手術に使用する短葉耳穴付自保 腔鏡—懸垂鉗付, S サイズ—	……桑原 惣隆…	1424(10)
マイクロサージャリーにおけるディス ポーザブルクリップの使用	……澤田 富夫・門脇 恵…	1425(10)
腹式子宮全摘術における傍結合組織処理の 工夫	……澤田 富夫・大橋 由政…	1550(11)
半臥蹲踞位による分娩	……寺尾 俊彦…	1551(11)
24 時間血圧測定の意義	……佐賀 正彦・佐藤 泉…	1658(12)
腔欠損症に対する腹腔鏡を利用した Davydov 造腔術	……高倉 賢二・野田 洋一…	1659(12)

原著

妊娠高血圧症妊婦および褥婦における尿中 カルシウムとリン排泄動態に 関する検討	……小原 範之・矢野 聡・ 森川 肇・望月 真人…	241(2)
子宮外妊娠の Magnetic Resonance Imaging (MRI) 像の特徴	……門間 千佳・小林 史典・藤原 浩・ 林 研・伊原 由幸・佐川 典正・ 森 崇英・富樫かおり・川上 聡・ 森川 賢二・小西 淳二…	247(2)
糖尿病合併妊婦におけるカルシウム代謝 の検討	……小原 範之・武内 享介・ 上田 康夫・森川 肇・望月 真人…	355(3)
前置胎盤症例に対する超音波検査と MRI 検査の比較検討	……	

森山 明宏・清水 廣・池淵 佳秀・ 菊池 知之・西村 譲・北 美保…	361(3)
当院 NICU における新生児死亡に関する 諸因子の検討—判別分析・多重ロジス ティックモデルを用いた危険因子解析 ……………大口 昭英・新井 昇・ 飴谷 由佳・佐竹紳一郎・小嶋 康夫・ 舟本 寛・中野 隆・館野 政也・ 津川 圭子・林 恵三・畑崎 喜芳…	527(4)
十代の若年女性にみられる月経周期異常に 対する臨床検討と漢方薬による治療 —虚証例への随証療法の成績 ……………後山 尚久・坪倉 省吾・ 池田 篤・植木 実・杉本 修…	651(5)
内視鏡的超音波断層法による卵巣癌直腸 浸潤診断に関する病理組織学的検討 ……………寺内 文敏・ 豊岡理恵子・田邊 勝男・大熊 永子・ 天明 麻子・寺内 博美・小倉 久男…	657(5)
前腔壁弛緩に対する腔式傍腔壁形成術 ……………下浦 久芳…	885(7)
前回帝王切開の取り扱いに関する検討 ……………嶋本 富博・ 立山 浩道・吉山 賢一…	1319(9)
結合型エストロゲン, MPA による 閉経後女性に対するホルモン 補充療法……………谷村 悟・佐伯 吉則…	1431(10)
腹腔リザーバー長期投与が腹膜クリアラ ンスに与える影響について ……………津村 宣彦・首藤 聡子・ 山下陽一郎・川口 勲…	1435(10)
卵巣癌における骨盤リンパ節ならびに 傍大動脈リンパ節への転移率について ……………小原 幹隆・高橋 道・ 三川 猛・柴田 悟史・福田 淳・ 加藤 充弘・設楽 芳弘・田中 俊誠…	1439(10)
当科における自己血輸血 115 例の検討 ……………谷本 博利・藤井 恒夫・ 木岡 寛雅・中田 奈央・中川 仁志・ 松尾 光将・谷岡 慶英・内藤 博之…	1563(11)
失感情症スケールで高値を呈した更年期 不定愁訴例に対する心身医学的検討 ……………後山 尚久・ 豊田 勝弘・折野 一郎・池田 篤・ 植田 政嗣・坪倉 省吾・植木 実…	1567(11)
新しい子宮内腔病変検査法—子宮内腔	

通水下超音波検査法

(sonohysterography) ……………

中島 敬和・南雲 秀紀・家坂 利清・

家坂 清子・水沼 英樹・伊吹 令人…1665(12)

子宮内膜癌 I 期症例に対するホルモン

補充療法……………安田 雅弘・倉林 工・

八幡 哲郎・本多 晃・東條 義弥・

山本 泰明・児玉 省二・田中 憲一…1671(12)

過去 15 年間の脳性麻痺の推定要因

……………嶋本 富博・立山 造道・

濱田 恵亮・三宅 和昭…1675(12)

私の臨床

不妊症外来における注射の副作用について

……………宇津宮隆史・指山実千代・

足達 明子・磯崎美智子…1325(9)

私の工夫

妊婦における臍下小切開創（マーク切開）

による卵巣嚢腫核出術……………合阪 幸三・

笹森 幸文・國保健太郎・斉藤 英樹・

都築 浩雄・鳥谷 葉子・吉田 浩介・

森 宏之…785(6)

既往帝切妊婦に対する外来ラミセル法の

有用性について……………

今村 昭一・伊集院吐夢・伊集院雅子・

福元 清吾・釜付 眞一・伊集院康熙…1443(10)

症例

Normal-sized ovary carcinoma syndrome

の 1 例—細胞像を含めて—

……………多方 保夫・窪田 彬・

山中 陽子・杉原 綾子・森 芳茂・

井原 茂美・石川 一幸・片嶋 純雄…253(2)

子宮頸部腺様嚢胞癌の 2 例……………

矢島 正純・種村健二郎・樋田 一英・

池田 俊一・千歳 和哉・恒松隆一郎・

山田 拓郎・近江 和夫・園田 隆彦…257(2)

高位脊髄障害者の妊娠分娩の 1 例

……………藤原葉一郎・

桑原 仁美・保田 仁介・岩破 一博・

大野 洋介・本庄 英雄・岡田 弘二・

細川 豊史・田中 義文・内田 睦…777(6)

卵巣 Sclerosing stromal tumor の 1 例…

名方 保夫・杉原 綾子・窪田 彬・

藤島 宣彦・森 芳茂・片嶋 純雄…781(6)

双胎妊娠の管理における臍帯動脈血流

速度波形の意義……………

田中雄一郎・吉松 淳・穴井 孝信・

Karima Gholbzouri・宮川 勇生…891(7)

卵巣線維肉腫の 1 例……………伏木 弘・

藤村 正樹・泉 陸一・加藤 潔…895(7)

前置血管 (vasa previa) を合併した

副胎盤の 1 例……………星原 孝幸・

前出貴美子・松尾 勇…901(7)

正常妊婦に発症しバンコマイシンが著効

を呈した非偽膜性・非出血性大腸炎の

1 例……………菓子井達彦・川西 孝和・

高木 弘・水島 豊・小林 正…1571(11)

帝王切開後に発症した原発性肺高血圧症

の 1 例……………

富久尾 信・伊東 宏絵・中村 秋彦・

永田 順子・西 洋孝・小坂 順治…1575(11)

母体血中テストステロン高値を示した

ステロイド細胞腫瘍合併妊娠の 1 例……

津村 宣彦・菊地 研・首藤 聡子・

山下陽一郎・川口 勲・山口 潤・

津田加都哉・角江 昭彦…1681(12)

薬の臨床

シスプラチン化学療法における悪心・嘔

吐に対するグラニセトロン[®]の制吐効果

……………大和田倫孝・鈴木 光明・

小川 修一・玉田 太朗・佐藤 郁夫…367(3)

更年期の各種不定愁訴に対する塩酸イン

デロキサジン[®]の有用性に関する

検討……………小武海成之・

太田 博明・杉本 到・増田あさ子・

隅田 能雄・牧田 和也・堀口 文…533(4)

化学療法後重度骨髄抑制に対する GCSF

(フィルグラスチム) 持続静注法の

臨床検討……………寺内 文敏・

植野 りえ・豊岡理恵子・田辺 勝男・

伊原佐江子・亀井 麻子・小倉 久男…1331(9)

更年期障害に対する tofisopam (グランダ

キシ[®])・estriol (エストリール[®])

の治療効果について……………首藤 聡子・

津村 宣彦・川口 勲…1335(9)

うつ傾向の治療を考慮した更年期障害の

治療経験……………山下 三郎・

阿部 博昭・多久島康司…1449(10)

新しい尿中 hCG 検出試薬オーラテック

hCG の臨床的検討 ……………梶 博之・ 上村 浩一・苛原 稔・青野 敏博…1685(12)
--

Obstetric News (武久 徹)

How small is too small?～極小未熟児に 帝王切開(帝切)は有効か?……………126(1)
Natural birth center～収容基準……………222(2)
妊娠中の内診の意義……………348(3)
タバコと妊娠～医師の責任……………514(4)
双胎妊娠において妊娠 38 週以降は 過期妊娠なのか?……………641(5)
新生児痙攣は分娩中の胎児低酸素症が 原因か?……………766(6)
「48 時間」……………1299(9)
骨盤位外回転は何時行うか? ～Evidence based……………1426(10)
不必要な帝王切開 ～Evidence based medicine……………1552(11)
「胎児仮死」という用語を妊婦や家族は どのように受けとるか?……………1660(12)

Current Practice (矢沢圭二郎)

‘Closed-eyes’ sign and ‘cough sign’……………23(1)
IUGR はくり返すか?……………72(1)
子宮外妊娠の初期診断……………104(1)
乳癌手術のタイミング……………156(2)
Preterm labor には子宮弛緩剤と副腎 皮質ホルモンの併用を……………197(2)
妊娠中のヘルペス感染症ガイドラインの 採用により帝王切開(帝切)率が減少……………350(3)
妊婦へのアスピリン投与は慎重に……………466(4)
IUGR の診断は玉石混交……………516(4)
血液検査でダウン症候群の発見率 89%……………573(5)
乳癌に対する needle-guided biopsy は どのような価値があるだろうか?……………596(5)
妊娠 20 週以前の水痘感染による奇形児 の発生は 2%程度……………650(5)
妊娠と腎疾患……………655(5)
前立腺癌の「急増」……………697(6)
尿路感染症と妊娠……………725(6)
マンモグラフィーの読影は 1 人よりも 2 人の医師によるほうがより正確……………728(6)
「少量のアルコール飲用で死亡率が減少」

を再確認……………788(6)
米国とハワイにおける乳癌の傾向……………1219(9)
婦人科でもっとも優れている病院は?……………1258(9)
あなたはまだアルツハイマー病にかかって はいませんか?……………1267(9)
Sexual Harassment……………1340(9)
臍帯血銀行の誕生……………1383(10)
手術中の医師の皮膚外傷……………1412(10)
ビデオカメラにご注意……………1474(11)
これは何でしょう?……………1496(11)
オステオポロシスに対するカルシウム 療法は「大して有効ではないが、 有害でもない」……………1526(11)
上昇を続ける米国の医療費……………1555(11)
胎児は何週から子宮外生存が可能か?……………1651(12)
米国の HIV 感染妊婦は 6,500 人……………1680(12)

昨日の患者

周産期における結核……………淵 勲…334(3)
あの頃に比べれば幸せな毎日…後山 尚久…630(5)
不妊治療の悩み……………脇本 博…1174(8)

Coffee Break

縄文のビーナス……………巽 英樹…178(2)
母子健康手帳……………飯沼 博朗…200(2)
生殖医療について思うこと……………荒木 重雄…285(3)
配偶者の選び方……………加藤 紘…827(7)
がん告知とインフォームド・ コンセント……………長谷川和男…851(7)
雑想……………戸澤 秀夫…952(8)
神様、許してください……………白井 彰…977(8)
胎内記憶と輪廻転生……………森本 義晴…1029(8)
重症男性不妊カップルへ の対応……………栗田松一郎…1065(8)
雑感……………見尾 保幸…1112(8)
タマゴのお話……………吉澤 緑…1118(8)
ふりかえれば……………神谷 博文…1127(8)
産婦人科の現状と将来……………佐藤 芳昭…1137(8)
生殖医療と エンブリオロジスト……………荒木 康久…1159(8)
「とぶ」感覚……………久慈 直昭…1164(8)
東西産婦人科医療事情……………辰巳 賢一…1171(8)